

平成22年 第4回木津川市議会定例会 開会あいさつ

みなさん、おはようございます。

本日ここに、平成22年 第4回 木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用のところ、ご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、1年が経つのは早いもので、あっという間に師走を迎えました。

本年を振り返りみますと、2008年秋のリーマンブラザーズの破綻をきっかけに急速に落ち込んだ世界経済は、緩やかに回復してきましたが、最近の円高の進展によりまして、まだまだ厳しい状況が続いています。

しかしながら、合併当初 66,490 人でありました住基人口は、今年の 6 月 11 日には 7 万人に達するなど木津川市の歴史に残る1年となりました。

それでは、本定例会冒頭の貴重なお時間を頂き、3点、ご報告させていただきます。

1点目といたしましては、合併協定項目の中で、未整理事項となっておりました水道料金及び下水道使用料の統一でございます

去る10月12日、木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会会長様より答申をいただきました。

答申の内容につきましては、健全経営を図る観点から水道料金で平均14%、下水道使用料で平均16%の引き上げが望ましいとする一方、料金統一に当たっては市民の負担が過大とならないように改定率、実施時期、算定期間や経済情勢も十分配慮し、使用者の理解と協力を得るためのPRに努めなければならないとされております。

この答申を受けまして、市といたしまして、内容を十分精査するとともに市民の皆様にも上下水道事業経営の現状や料金統一・改定の必要性等についての説明に努め、ご理解とご協力をいただくための取り組みを進めて参りたいと考えております。

そのため、条例改正案の議会提案につきましては、そういった取り組みを進める中で適切な時期の判断をしてまいりたいと考えておりますので、議員各位におかれましては、ご理解いただきますようお願いいたします。

2点目といたしましては、長年の懸案事項でありました病後児保育事業についてでございます。

本事業につきましては、国民健康保険山城病院組合に事業を委託し、公立山城病院に隣接しますマンションにおきまして、去る10月に病後児保育室を無事に開

設することができました。

現在、利用登録の申請は着々と増え続け、約160名もの利用登録がされているところでございます。

また、開設後、早速の利用もございまして、保護者の方々の就労支援の一助となりますことに安堵いたしているところでございます。

今後も、子育てや保育サービスに対する市民のニーズを踏まえて策定しました次世代育成支援地域行動計画に基づき、安心して子育てができる環境づくりに取り組んで参りたいと考えております。

3点目につきましては、企業誘致に関してでございます。

平成20年10月に木津南地区で1.7haの用地を取得いただいた「株式会社ミズホ」様が、いよいよ建物着工に向けた準備に着手されました。

当社は、ベアリング、自動車用部品、家電部品など機械部品の高精度精密研削(けんさく)加工用の砥石(といし)を製造販売する企業であり、新しい建物の完成は、来年夏頃の予定とされております。

新施設の計画概要といたしましては、延床面積が、約3,300㎡の2階建てで、こちらでお勤めになる従業員数は、約60人、施設名は「ミズホ テクニカルラボ」と伺っております。

なお、本施設が完成いたしますと、木津南地区に立地する研究施設は、6施設となります。

ここ1・2年は世界的な景気後退により、企業誘致も進んでおりませんでした。最近では幾つかの企業様から木津川市にご興味をいただいております。私といたしましても、本市への企業立地に繋がるよう、引き続き全力で誘致活動に邁進する所存でございます。

さて、本定例会にご提案いたしております 議案等につきましては、お手元にお届けいたしておりますとおり、同意2件、議案14件となっております。

詳細につきましては、後ほどご説明させていただきますので、よろしくご審議いただき 全議案ご議決いただきますよう お願い申し上げます。簡単ではございますが 開会のごあいさつとさせていただきます。